

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和5年9月21日 午後1時30分から3時まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	赤堀委員、浅川委員、小林委員、小山委員、田中委員、田村委員、富田委員、西入委員、羽田委員、松田委員、宮坂委員、宮崎委員、宮下委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、和田委員
5 市側出席者	【事務局】間宮塩田地域自治センター長、滝沢城南地域振興政策幹、遠藤地域振興政策幹、竹花課長補佐兼地域内分権推進担当係長、滝澤地域内分権推進担当主査、城下地域内分権推進担当主査、清水地域内分権推進担当主任、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年9月25日
協 議 事 項 等	
1 開会	
2 会長あいさつ	
3 協議事項	
(1)分科会協議「第1分科会」「第2分科会」「第3分科会」	
上田左岸地域の課題について	
分科会ごとに分かれて意見交換	
【第1分科会：自治・まちづくり】	
調査・研究テーマについて協議	
上田左岸地域63自治会の自治会長あてに依頼している補助金等に関するアンケートのうち、既に回答のあった33自治会について、中間の取りまとめとして回答内容を報告し、共通認識を持ったうえで委員間の意見交換を行った。	
アンケート内容から自治会が持つ収入減への危機感や補助内容の見直し要望などがたくさんあることを確認しつつ、今後新たに提出されるアンケート回答の状況も踏まえて、次回以降の会議において市の要望事項として意見書を提出する方向でまとめていくこととした。	
回答に含まれる要望事項等は自治会ごとに事情が異なるため、意見書に集約することの難しさも認識しつつ、集約されなくとも自治会からの生の声を行政に伝えていくことも重要であるとの意見もあった。	
【第2分科会：子育て・福祉・教育】	
長野大学 Team まちづくり（長野大学中村ゼミ）事業「漢食堂」の紹介（川辺泉田地区）	
みんなのしおだ食堂上原代表講演会の紹介（社協塩田地区会住民福祉大会）	
調査・研究テーマについて協議	
以下、委員からの主な意見	
（長野大学地域づくり総合センター職員との懇談を受けて）	
・長野大学へボランティアを依頼する時は、学習支援、子どもと遊んでほしい等目的を具体的にしてお願ひした方がよい。	
・大学側が求めているものと、地域が必要としていることのマッチングが大事だと感じた。	

・公立化後、新型コロナウイルス感染症のこともあり、老人会との交流がなくなってしまった。常に交流がもてる会できたらありがたい。

・過疎化地域に大学生が入っていただき、知恵や手助けをいただけたらよい。

・市から大学へお願いできるシステムはないのか。市からの要請があれば大学も動きやすいのではないかな。

(意見書の作成について)

・任意の団体が公民館等を利用して、みんなのしおだ食堂のような多年齢交流事業ができないか。支援として、信州子どもカフェプラットホーム、長野大学総合センターが考えられる。フードドライブの実施方法についても、公民館等の活用(実施主体は住民自治組織、社会福祉協議会、包括支援センター等)はどうかと考えている。

【第3分科会：産業・地域振興】

調査・研究テーマについて協議

以下、委員からの主な意見

・意見書の件名は、城南地域、塩田地域、川西地域と地域名を入れることとするがよいかな。

→今までの協議の経過と一致するのでよい。

・現状、課題、提言の組み立てで意見書を作成する。

・内容は上田左岸地域に特化したものとする。

・意見書に添付する書類について、次回の分科会で検討する。

4 その他

次回の開催予定

日時 10月19日(木) 午後1時30分から

場所 川西公民館 大ホール

5 閉会